

## 平成 30 年度 自然保育推進事業 活動報告書

### 1、団体名

社会福祉法人みどり会 みどりの森ようこう保育園 (広島県廿日市市陽光台 5 丁目 1 番地)

### 2、今年度の活動概要

一年を通して、広い園庭では砂山のぼり・どろだんご・水・自然物を使ってのごっこあそびを楽しんでいます。また、園周辺、山、公園などに出かけ、しっかり歩き、思いきり身体を動かして遊んでいます。それぞれの季節の生き物や自然物、景色に触れ、子ども自身が発見し、考え、思い思いの遊びを友だちといっしょに楽しみ、いろいろな体験をしています。

### 3、活動内容

四季折々の自然の中で、毎日子どもたちは主体的に遊び込みました。裏山での秘密基地づくり、草花・木の実遊び、虫とり、野いちご・山菜摘み、畑の土・野菜づくり、季節の食材を使っての料理、たき火(焚き木を拾ってノコギリで薪割り)、宮島弥山登山、川遊びなど様々な活動を楽しみました。その中でも、年長組を中心に一年間、『よもぎ』『竹』を使って取り組んだ活動報告をします。

#### 【よもぎの取り組み】

散歩先で摘んできた春のよもぎを茹でて『よもぎ団子』をつくりました。「今まで食べた物の中で一番おいしい!」「世界中の人に食べさせてあげたい!」と大満足。「小さい子にもつくってあげようよ」と再度、団子づくりに精を出しご馳走する年長組。小さい子どもたちも憧れの目で見ていました。



お泊り保育では、園庭をスコップで堀り、干したよもぎを入れ『よもぎの露天風呂』に入浴。



お世話になっている地域の方やおうちの方にも『よもぎ風呂パック』をプレゼント。



3月には卒園記念品のピアノカバー飾りを作りました。よもぎを摘んできて『よもぎ染め』に挑戦し薄緑色の布に仕上がりました。一針一針、じっくり丁寧に刺し子に取り組み、よもぎ染めのカバーが完成。



### 【竹の取り組み】

園庭に竹を長くつなげて水あそび。

“竹で何をつくるか、何して遊ぶか” 決まるとその活動に合った竹を探しに裏山に出かけて行き「どれにする？」と相談が始まります。自分たちでノコギリを使い切り倒し運びます。



「もっとつなげてみよう！」  
「高くしたら、すごくなされるよ！」  
目を輝かせて工夫し合う子どもたち。

竹を好きな長さに切って、『竹コップ』作り。念入りに、サンドペーパーで磨きをかけました。お泊り保育では、竹コップで山の湧き水やお茶を飲みました。『竹ばし』も手作りしました。



毎年、年末は門松づくりをします。

寒い季節ですが、年長組の大仕事とあって張り切って太い竹を探しに山へ出かけました。

長さも友だちと考えながら切っていきます。「しっかり持ってて！」踏ん張る足にも気合が入ります。

冷たい手に息をふきかけながら、青竹がきれいな色になるまで根気強く磨きます。



山からとってきた松や竹、葉ぼたん、南天など、お迎えにきたおうちの方と  
いっしょに飾っていきました。

「これで、いい年がやってくるね」



3月卒園式の日、“太鼓・荒馬”を披露しました。  
心をひとつにして『竹太鼓』の音が響きました。



冬の裏山で、みんなに内緒で作った秘密基地。  
竹・枝・葉などを協力して組みました。



<自然体験活動の実施にあたって…>

子どもたちが遊びの主人公になるように、保育者同士でアイデアを出し合い、活動中は連携して保育者自身がいっしょに楽しみ見守るようにしています。自由に思いっきり遊び込むためにも、日々体幹がしっかりした身体づくりを目指しています。発達にあった遊びや環境を考え用意し、危険な行為や道具の使い方を伝える等、安全面にも配慮しています。